

スムーズ・スリーブ 防火区画用 施工要領書

※使用時以外で離型紙は剥がさないでください。

■施工手順

1. 断熱部材の配管穴を抜く

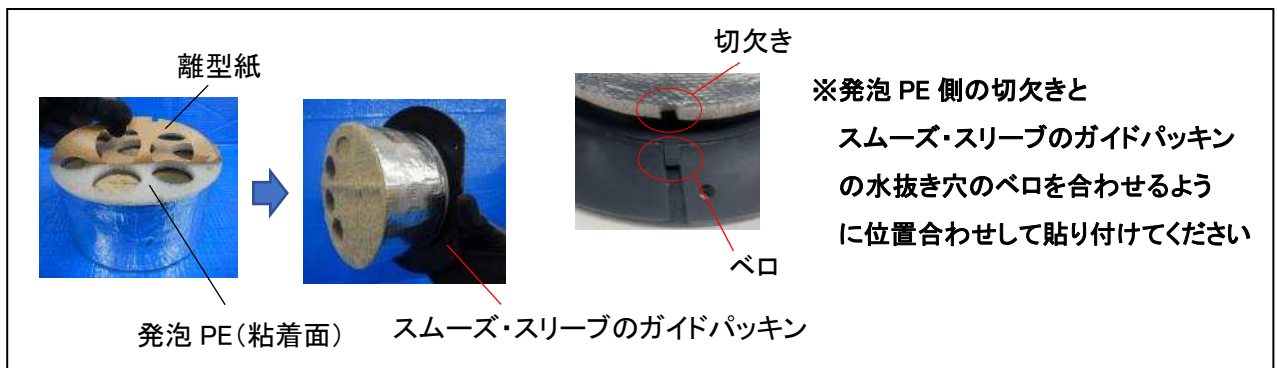
断熱部材の配管貫通穴は配管を貫通させる穴のみ、穴をふさいでいるロックウールを抜いてください。
また、ロックウールを抜く際はロックウールの露出している側の面から押して抜いてください。



※配管の挿入されない穴はロックウールを抜かないでください。穴をふさぐロックウールがなく、配管が挿入されていない状態で使用すると認定・評定外となり、耐火性能が発揮されません。
※誤って配管の挿入されない穴のロックウールを抜いた場合は、元の穴へ戻して使用してください。

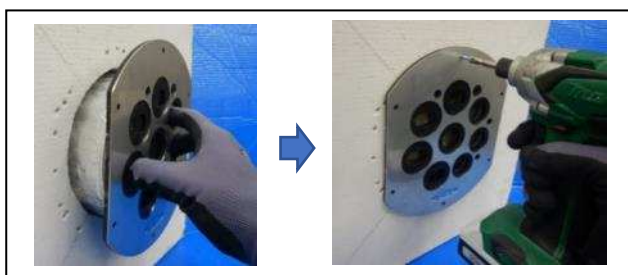
2. 断熱部材をスムーズ・スリーブに貼付ける

発泡 PE の離型紙を剥がし、粘着面をスムーズ・スリーブのガイドパッキンに貼付けてください。



3. 開口への設置

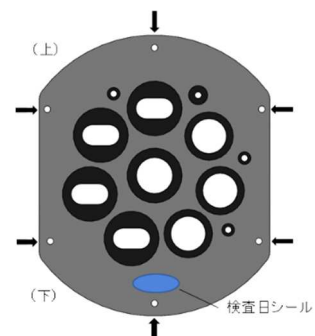
断熱部材を外壁側から開口にはめるように設置し、製品の上下を確認の上、ALC 板専用ビスのステンレスファスナーM5(ビス長さ 35 mm以上)にて 6 箇所固定してください。



※検査日シールが下側に位置するように取り付けてください

※センター出しを確実にし、ビスは真っ直ぐに打ち込んでください。

斜めに打ち込むと ALC 板の破損につながります。



4. 配管を挿入する

配管のサイズと位置を確認の上、内壁側から配管を挿入してください。

※配管は必ず所定の位置に挿入して下さい。

配管位置は次ページの「配管位置関係・適用配管サイズ」をご確認下さい。

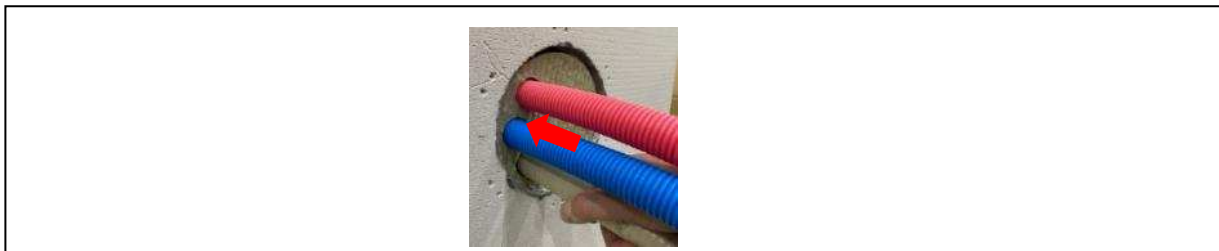
※配管の曲げクセを直して挿入してください。

※給水、給湯配管の保護管はテクトパイプ 16・20 を必ずご使用ください。

テクトパイプ以外の保護管を使用すると、認定・評価の対象外となります。

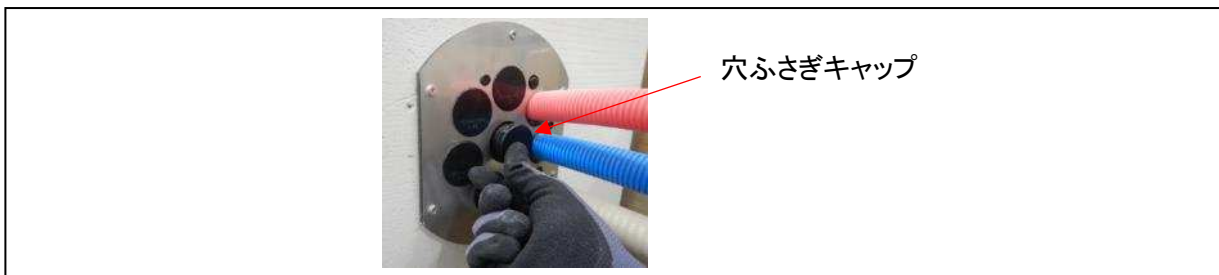
※断熱部材には認定・評価の関係上、電気配線用穴がなく挿入できないため

別穴にて施工してください。



5. 穴ふさぎキャップの設置

配管を通さないスムーズ・スリーブのゴムパッキン穴には全て穴ふさぎキャップをつけてください。



6. パテの充てん

壁の面一まで隙間ができないようにパテを密に充てんしてください。

※壁の面一まで充てんできていれば、パテ1袋をすべて使用する必要はありません。



※配管を固定する前にパテを充てんしてください。配管を先に固定すると充てん作業がしにくくなります。

※壁厚が 100mm より厚い場合はパテが充てんされている面から壁面までの深さを測り

本体部材とパテが合わせて 100mm の厚み以上充てんされていることを確認してください。

■配管位置関係・適用配管サイズ

【ZSS-160-A-E仕様】

ステンレスプレート
電気配線用穴×4ケ
(不使用)

シールパッキン
ガイドパッキン

<付属品>
床暖(予備)用穴塞ぎキャップ: 1ケ
電気配線用穴塞ぎキャップ: 4ケ

No.	管 種	保護管	挿入管
A	床暖(予備)	楕円さや管 (23.5×36)	架橋ポリエチレン管 ペア +制御ケーブル
B	浴乾	楕円さや管 (23.5×36)	架橋ポリエチレン管 ペア +制御ケーブル
C	床暖	楕円さや管 (23.5×36)	架橋ポリエチレン管 ペア +制御ケーブル
D	床暖	楕円さや管 (23.5×36)	架橋ポリエチレン管 ペア +制御ケーブル
E	追焚	さや管30	架橋ポリエチレン管 トリプル +制御ケーブル
F	給湯	テクトパイプ 16・20	架橋ポリエチレン /ポリブテン管
G	給水	テクトパイプ 16・20	架橋ポリエチレン /ポリブテン管
H	ガス		塩ビ被覆付SUS フレキシブル管 25A

【ZSS-160-B-E仕様】

ステンレスプレート
電気配線用穴×4ケ
(不使用)

シールパッキン
ガイドパッキン

<付属品>
床暖(予備)用穴塞ぎキャップ: 1ケ
電気配線用穴塞ぎキャップ: 4ケ

No.	管 種	保護管	挿入管
A	床暖(予備)	さや管22	架橋ポリエチレン管 ペア +制御ケーブル
B	浴乾	さや管30	架橋ポリエチレン管 ペア +制御ケーブル
C	床暖	さや管22	架橋ポリエチレン管 ペア +制御ケーブル
D	床暖	さや管22	架橋ポリエチレン管 ペア +制御ケーブル
E	追焚	さや管30	架橋ポリエチレン管 トリプル +制御ケーブル
F	給湯	テクトパイプ 16・20	架橋ポリエチレン /ポリブテン管
G	給水	テクトパイプ 16・20	架橋ポリエチレン /ポリブテン管
H	ガス	さや管30	塩ビ被覆付SUS フレキシブル管 20A

※配管の位置と管種は、必ず上の図表に対応するように挿通してください。

図表の穴位置(番号)と異なる場所に挿通した場合、認定・評定外となり耐火性能が発揮されません。

■注意事項

- ・作業時には作業手袋などをご使用ください。
- ・認定書・評定書をご熟読の上、施工してください。
- ・配管などが動かないように貫通部近傍でしっかりと配管を固定してください。不十分な場合は、パテと配管の間に隙間が生じる可能性があり、防火性能が発揮できません。
- ・直射日光は避けてください。必ず日除けなどで日光が当たらない様に処置してください。
- ・断熱部材は水濡れしないように施工・設置してください。
- ・製品は分解せず、そのまま使用してください。
- ・本製品はコーキング処理を行うことはできません。

※コーキング処理は認定・評定外となるため、施す場合は事前に所轄官公庁へ相談してください。